

第3回 こまき^{けんてい}検定 ^{ちゅういじこう}注意事項

平成31年2月3日(日)

^{ちゅうい}注意すること

- ① 検定時間は30分です。(10時00分～10時30分)
- ② 「はじめ」の合図があるまで、問題用紙を開かないようにしてください。
- ③ ^{とちゅう}途中で会場から出ることはできません。トイレや^{たいちょう}体調が悪い時は、手をあげてください。
- ④ ^{つくえ}机の上には、筆記用具のみを^{じゅんび}準備してください。
- ⑤ 問題に関する^{しつもん}質問は、字が読みづらい以外はできません。
- ⑥ 答えはすべて^{かいとう}解答用紙に記号で記入をしてください。
- ⑦ 問題は1ページから5ページまであります。

^{ごうかく}合格・^{ひょうしょう}表彰について

- ① 21問以上の^{せいかい}正解で^{ごうかく}合格になります。
- ② 満点賞のみ会場で氏名を^{ひょうしょう}発表し^{ごう}表彰します。その他の^{ごう}合格・^{ふごうかく}不合格については、終了後に受付でもらう^{ふうとう}封筒の中を^{かくにん}確認してください。

第3回 乙まき検定 問題

次の問題の答えとして、正しいと思うものを選び、解答用紙に記号で書きま
しょう。

1 小牧市街地と桃花台ニュータウンを結ぶ新交通システムが開通し、平成18年(2006)まで列車が走っていました。この路線の愛称は、何だったでしょう。

- ア スカイライナー イ ピーチライナー ウ オレンジライナー
エ アクアライナー

2 江戸時代に小牧宿の形成が進むにつれて、宿の機能も次第に整えられていきました。藩の役人などが公用で宿泊・休けいする施設として設けられたのが、本陣です。小牧宿で本陣を務めた家はどこでしょう。

- ア 江崎家 イ 岸田家 ウ 加藤家 エ 徳川家

3 上末の貴船神社境内にまつられていて、市の天然記念物に指定されている、樹齢推定300年の巨木といえは何でしょう。

- ア クスノキ イ タブノキ ウ アベマキ エ シイノキ

4 東田中にある三ツ山古墳群は古墳時代のものですが、古墳はどんな形でしょう。

- ア 円墳 イ 方墳 ウ 前方後円墳 エ 前方後方墳

5 昭和30年(1955)1月に市制が施行されました。このとき、3町村が合併して小牧市となり、県下21番目の市が誕生しました。小牧町・味岡村と共に合併した村はどこでしょう。

- ア 北里村 イ 羽黒村 ウ 篠木村 エ 篠岡村

6 北里小学校は、かつて2つの小学校を統合して北里尋常小学校としてつくられました。いつのことでしょう。

- ア 1886年 イ 1908年 ウ 1914年 エ 1941年

7 ^{いわさき}岩崎山の南にある公園（岩崎児童遊園地）は、明治時代に開校された学校^{あと}の跡地につくられました。その学校の名前は、何でしょう。

ア ^{いわさき}岩崎学校 イ ^{いしき}一色学校 ウ ^{あじおか}味岡学校 エ ^{くぼ}久保学校

8 野口、林、池之内、上末、大草などの篠岡地区には、弘法大師をまつる弘法堂が多く見られます。弘法大師の命日である4月21日前後には弘法様のお祭りとしてにぎわいます。では弘法大師と言われた人はだれでしょう。

ア ^{がんじん}鑑真 イ ^{しんらん}親鸞 ウ ^{にちれん}日蓮 エ ^{くうかい}空海

9 野口にある関無院は、昔、尾張藩主の徳川義直が狩りをしたある動物をとむらうために建てられたと伝えられる寺です。この動物は何でしょう。

ア ^{ざる}猿 イ ^{しか}鹿 ウ ^{いのしし}猪 エ ^{くま}熊

10 ^{てんしょう}天正12年(1584)、小牧・長久手の合戦で、徳川家康と対峙した羽柴秀吉はどこに拠点^{きよてん}を置いたでしょう。

ア 小牧山城 イ ^{はぐろ}羽黒城 ウ ^{がくでん}楽田城 エ 犬山城

11 市内で一番高い北東山間部から大山川が流れる大山・野口地区で、6月初旬^{しよじゆん}から中旬^{ちゆうじゆん}にかけて流域^{りゆういき}で見られるホタルは何でしょう。

ア ヘイケボタル イ ゲンジボタル ウ ヒメボタル エ マドボタル

12 郷中^{ごうなか}にある龍徳寺^{りゆうとくじ}の山門は、「閉めずの門」と言われています。名前の由来は、門やとびらを閉めないことからきています。どうして閉めないのでしょうか。

ア ^{もんび}門扉が^{もともと}元々無いから イ ^{だんか}檀家の人^しがいつでもお参りできるように

ウ ^{てんぐ}天狗に「閉めるな」と言われたから エ 門扉が重くて動かせないから

13 小牧市のシンボルである小牧山の高さは何mでしょう。

ア 65.9m イ 75.9m ウ 85.9m エ 95.9m

14 名鉄小牧線には、現在、田県神社前駅があります。しかし、小牧・犬山間が昭和6年(1931)4月に開通したときは、駅名が違っていました。何という駅名だったでしょう。

ア 岩崎駅 イ 久保一色駅 ウ 久保駅 エ 一色駅

15 北里地区にある「藤島」「多気」という地名から、この地域が昔どのような土地だったことが分かるでしょう。

ア 丘陵地 イ 台地 ウ 臨海地 エ 河川の氾濫原

16 「尾張」という名前のうまれた場所といわれている、北里地区の小針にある神社の名前は何でしょう。

ア 小針神社 イ 尾張神社 ウ 天神社 エ 宇都宮神社

17 小木の宇都宮神社内にある歌碑「飛車山 ふもとに見えし 里の名は たが言い そめて こきといふらん」の短歌の作者はだれでしょう。

ア 在原業平 イ 柿本人麻呂 ウ 紫式部 エ 小野小町

18 愛知県の焼き物の産地としては瀬戸が有名ですが、小牧でも明治時代後期に「小牧焼」といわれる陶器が作られるようになりました。この「小牧焼」を始めた人はだれでしょう。

ア 江崎均 イ 加藤民吉 ウ 齊藤圀次郎 エ 林金兵衛

19 小牧・長久手の合戦の際、小牧山の近くに蟹清水 砦 という織田信雄・徳川家康連合軍の砦が築されました。この砦は、元々は織田信長による小牧山城築城の際に、信長の家臣が建てた屋敷を修復したものだと言われています。この家臣はだれでしょう。

ア 羽柴秀吉 イ 佐久間信盛 ウ 明智光秀 エ 丹羽長秀

20 江戸時代末期、小針入鹿新田に栗崎常慶という小児科の名医がいました。小児病の妙薬として、「尾張名所図会」にも紹介されている薬は何と云うでしょう。

ア 救命丸 きゆうめいがん イ 保童丹 ほどうたん ウ 正露丸 せいろうがん エ 赤玉 あかだま

21 「絹本着色文殊菩薩像」や、国の史跡にも指定されている大山廃寺跡にゆかりのある品だと思われる「鑄鉄千手観音菩薩立像」などを保管しているお寺はどこでしょう。

ア 正福寺 しょうふくじ イ 福蔵寺 ふくごんじ ウ 江岩寺 こうがんじ エ 永平寺 えいへいじ

22 小木小学校の東側にある真通寺は、小牧・長久手の合戦で戦死したある武将を弔うために建てられた庵がもとになって創建されました。この武将とは、誰でしょう。

ア 森長可 もりながよし イ 森蘭丸 もりらんまる ウ 池田元助 いけだもとすけ エ 池田恒興 いけだつねおき

23 全国的に有名なブランド地鶏になった名古屋コーチンは小牧でうまれました。池之内の大泉寺には、名古屋コーチンを作り上げた人の墓があります。だれの墓でしょう。

ア 津田応助 つだおうすけ イ 海部壮平 かいふそうへい ウ 神戸真 かんべしん エ 波多野鼎 はたのかなえ

24 小牧にはキツネの伝説が多く残っています。その一つに、小牧山に住んでいたあるキツネの伝説があります。そのキツネの名前は何でしょう。

ア 東五郎 とうごろう イ 又五郎 また ウ 吉五郎 きち エ 大五郎 だい

25 小牧神明社にある「市神」の碑は、小牧宿で開かれていた市の由来を後世に伝えるため建てられました。この市の名を何と云うでしょう。

ア 一六市 いちろく イ 三八市 さんぱち ウ 四九市 しゆく エ 五日市 いつか

26 小牧市と隣^{とな}り合っている市町村は、いくつあるでしょう。(平成30年現^{げんざい}在)

ア 3 イ 5 ウ 7 エ 9

27 平成29年(2017)に小牧市内で初めて登録有形文化財(建造物)に登録された門柱がある施設は、どこでしょう。

ア 小牧小学校 イ 篠岡小学校 ウ 小牧市立図書館

エ 愛知県立小牧高等学校

28 小牧山には、山頂^{さんちよう}へ向かう道がいくつかあります。その中の一つに、昭和44年(1969)に整備された北の虎口^{こぐち}からジグザグの形状^{けいじよう}をした坂道があります。この坂道を通して山頂へと進む道は、現^{げんざい}在何と呼ばれているでしょう。

ア 大手道^{おおて} イ 兵隊道^{へいたい} ウ 搦手道^{からめて} エ 曲輪道^{くるわ}

29 小牧四丁目(小牧小学校と小牧南小学校の校区の境^{さかい}辺り)には江戸時代に建てられた小牧御殿^{ごてん}がありました。後に小牧御殿の一部には代官所^{もく}が設けられましたが、祖父^{そふ}がこの代官所^{つと}に勤めていたと言われる作家は誰でしょう。

ア 坪内逍遙^{つぼうちしようよう} イ 二葉亭四迷^{ふたばていしめい} ウ 樋口一葉^{ひぐちいちよう} エ 尾崎士郎^{おぎきしろう}

30 小牧五丁目の小牧神明社の秋祭は、江戸時代から小牧宿^{しゆく}の祭の一つとして、春の神明社の小牧祭、夏の秋葉祭^{なら}と並び、秋の馬祭として親しまれてきました。どんな奉納神事が行われているでしょう。

ア 棒の手奉納神事^{ぼうて} イ 五本棒オマント奉納神事^{ほん} ウ 木遣り奉納神事^{きや}

エ 上げ馬奉納神事^{あうま}

出題に関わる参考文献

『小牧市史』

『小牧の文化財』

『小牧叢書』

『小牧散歩』『小牧の文化財散歩』

『小牧の寺院』『小牧の神社』

『小牧の文化財地図 訪ね歩きマップ』

『社会科副読本 こまき』

『社会科副読本 小牧』

『北里仏教会・寺院のあゆみ』

これで第3回こまき検定の問題は終わりコマ。
しっかり見直すコマ。

- ☆ 30問しっかり最後までがんばったコマか。
- ☆ 解答用紙には記号で書いてあるコマか。
- ☆ 名前も忘れずに書いてあるコマか。

これからも小牧市の歴史や文化、産業などに
興味をもってほしいコマ。

どすこまき！！



第3回 乙まき検定 かいとうようし 解答用紙

じゅけんばんごう
受検番号()

名前

1		2		3		4		5	
6		7		8		9		10	
11		12		13		14		15	
16		17		18		19		20	
21		22		23		24		25	
26		27		28		29		30	



点
